令和3年度部局運営方針実績

生涯学習部

運営方針

生きがいを持っていきいきと創造的に暮らせる社会の実現

市民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと創造的に暮らせる社会を実現するために、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学び、スポーツ、文化活動を支援します。

【重点施策とめざす方向】

生涯学習関連事業の推進

文化会館、市民交流センター、スポーツ施設等の生涯学習関連施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営し、各分野において様々な生涯学習関連事業を展開します。

特に、地域活性化に寄与するシティマラソン 大会の企画開催や、公民館と小学校の複合化に 向けた調査・研究を進めます。

また、市民交流センターの管理運営方法も含めたあり方について、検討します。

【実績】

目標どおり達成

文化会館、市民交流センター、スポーツ施設等の生涯学習関連施設は、指定管理者を通じて効果的かつ効率的に管理運営し、各分野において様々な生涯学習関連事業を展開しました。なお、市民交流センターについては、今後のあり方を検討するため、令和4年度から市が直営することとしました。



また、地域活性化に寄与するシティマラソン 大会を開催するとともに、加賀田公民館と加賀 田小学校の複合化に向けた調査及び機運醸成を 進めました。

子どもを守り育む環境づくりの推進

待機児童を出すことなく、放課後児童会の安定的な運営を行うとともに、放課後子ども教室等の充実を図りながら、子どもたちの安全で安心な居場所の確保に努めます。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどとの連携を進めながら、地域や家庭の教育力を高める取り組みを支援します。

ほぼ目標どおり達成

放課後児童会については、1,092名の児童を受け入れ、32クラス体制で運営し、待機児童を出すことなく運営するとともに、支援員の処遇改善に取り組みました。放課後子ども教室については、延べ68回、1,160人の参加となりました。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどとの連携については、地域環境向上のための啓発活動の実施や街頭パトロールなどの協力を求め、多くの事業が中止になる中、地域や家庭の教育力を高める取り組みを支援しました。



歴史文化遺産の保護・活用の推進

令和元年度に策定した河内長野市文化財保存 活用地域計画に基づいて、指定文化財の保存、 継承のために補助事業の適正執行を図ります。

また、日本遺産関連事業(調査研究、普及啓発、情報発信)を推進することで、本市の魅力発掘、次世代を担う人材の育成、市外へ向けての情報発信を行います。

この他、市内の年中行事や伝統行事を調査・研究し、社会教育・学校教育の教材として活用できるよう河内長野版『歳時記』の編集を進めます。

目標どおり達成

天野山金剛寺の災害復旧工事及び大玄関の修 繕工事、重要文化財岩湧寺多宝塔の保存修理等 を実施しました。

また、日本遺産関連事業として「中世に出逢えるまち」及び「女人高野」の調査研究のほか、「女人高野」の講演会の実施やスタンプ帳、ガイドマニュアル作成など、本市の魅力発掘、次世代を担う人材の育成、市外へ向けての情報発信を実施しました。



この他、『歳時記』にかかる調査・研究については、コロナ禍の地域の伝統行事・祭りの中止等により現地調査は遅れましたが、郵送や聴き取り等による情報収集を実施し、現地調査の基礎資料としました。

図書館サービスの推進

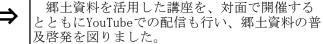
第4次子ども読書活動推進計画を推進すると ともに、ICTを活用した図書館サービス(電 子書籍等)の充実、利用者に対応したサービス の充実、図書館資料を活用した行政支援、郷土 資料の活用ほか、図書館サービスの充実を進め ます。

また、英語村構想事業と連携した、英語多読 資料の整備・普及に取り組みます。

目標どおり達成

第4次子ども読書活動推進計画を関係各課と の連携のもと、計画的に推進しました。

令和2年9月に導入した電子書籍の充実・利 用促進を図り、マルチメディアデイジーなどア クセシブルな書籍等を活用した読書活動の推進 を行いました。



英語多読資料を258点整備し(蔵書総数1,824 点)、年間11,159点の貸出しがありました。また、英語村構想事業等のイベントにおいて、英 語多読資料の紹介等を行い活用を図りました。

